

薫風



特別養護老人ホーム 銀砂台

発行：社会福祉法人松濤会
特別養護老人ホーム銀砂台
発行日：令和4年8月1日



銀砂台開所当時の集合写真

25周年

開設二十五周年

社会福祉法人松濤会 理事長 松本 定信

1997年9月7日、特別養護老人ホーム「銀砂台」を開設いたしました。

当時はいまだ措置入所の時代で、日立市高齢福祉課が入所の決定をし、施設はそれを受け入れて介護支援をいたしました。当時、日立市の特別養護老人ホームは、市営の「万春園」一か所のみであり、すでに措置希望待機者は数百名に上り、近隣自治体の施設に委託せざるを得ない状態でありました。重度の要支援者は療養型の病院が受け入れていましたが、認知症のみが進行している要支援者は、支援困難のため、受け入れる施設が少なかったためです。「銀砂台」は、そういう地域の窮状を緩和する一翼を担うべく、活動を始めました。

その後、2000年に介護保険制度が成立し、「被措置者」は「介護保険被保険者」となり、施設との随意契約で介護支援の授受活動に移行しました。

一定の介護運営経験を積んだ2008年2月、日立市鹿島町に地域密着型特養ホーム「助川サテライト」を開設いたしました。これは、介護は「住み慣れた地域で生活すべき」という、厚労省の指針によるもので、全館を個室仕様とし、個別介護を推進いたしました。また、同年5月、助川サテライト内に小規模多機能型居宅介護施設「鹿島町クラブ」を併設いたしました。これは、施設入所がご本人とご家族とのふれあいの頻度を阻害するのを少しでも軽減し、垣根のない介護生活を意図したものでした。

その後、2017年10月、地域ケア行政サービスの一環として、日立市の委託により従来の「在宅介護支援センター」から「地域包括支援センター」に昇格させて、鹿島町に独立事務所を構え、「地域包括支援」の見える化を具体化し、それに先立つ同年7月に本宮町に2か所目の小規模多機能型居宅介護施設「本宮町クラブ」を開設しました。

いま、開設25年を経て、その間、地域の皆様と関係機関のご援助や、また、高齢化社会の激流に洗われながら、利用者の「安心」を専一にしていまいりました。「地域の安心」は、「地域からの信頼」が基本です。それを「至高の使命」として、これからも対処していまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

ここに25周年にあたりまして、地域の皆様、関係諸機関の皆様に、改めて心からの感謝をささげたいと思います。



銀砂台 本園

介護老人福祉施設／短期入所生活介護

コロナ禍の中での面会対応の難しさ

コロナウイルス感染症対策のため、面会については窓越し面会やWEB面会での対応をお願いしておりました。利用者様やご家族様には長らくふれあいの機会が提供できない状況に申し訳ない気持ちと同時に、まん延防止のためだからとご理解ご協力を得られることに大変感謝申し上げます。

第六波が落ち着き新規感染者の減少傾向が続いている6月下旬からは、やっと対面式面会が実施できるようになりました。感染リスクが全てなくなった状況ではないため、平日の午後に限定し受け入れる件数を制限しての面会となりましたが、実際に面会された利用者様やご家族様からは、やっぱり普通のかたちで会うことができるのは良いですねとの言葉が聞かれました。



7月中旬に入り新たな株への置き換わりと急激な新規感染者増加が報道されており、第七波に入ってしまうことが懸念される状況から、入所者様の安全を優先に考え、大変心苦しいですが対面式面会は中止とする判断に至りました。一日でも早くコロナが終息し、以前のように自由に入館できご家族様と直接触れ合えることが普通の生活となることを願うばかりです。



個別余暇活動の取り組み



毎年、年間行事予定を企画していますが、新たな取り組みとして利用者様一人ひとりに「やりたい事」の希望を取り個別での希望に沿った行事を実施しました。様々な希望があり、手芸、お茶会、食事会を実施し、利用者様の多くの笑顔と「最高だ」「何年ぶりに食べるかな、美味しかった」等感謝の言葉を頂きました。



新施設ケアマネ着任挨拶

6月から本園施設ケアマネとして勤務することになりました。私の強みは介護職員として10年以上積み重ねた経験であると思います。利用者様から直接声を聴きその思いを汲み取り、私の強みを活かして今までより一歩踏み込んだケアを多職種と連携して提供していきたいです。(梅原 奈津子)



介護支援専門員合格

新人紹介

銀砂台本園に入職した新人職員を紹介します。どうぞよろしくお祈りします。



介護職員
関口 陽祐

利用者様が明るく元気に生活できるよう支援していきたいと思っています。これからよろしくお祈りいたします。



介護職員
林 真由美

5月より3年振りに復帰しました。また銀砂台の皆さんと一緒に仕事ができることを嬉しく思っています。利用者様に寄り添い毎日が笑顔で過ごして頂ける介護を目指して頑張ります。



介護職員
カオ・シ・アン

私の目標は日本で介護福祉士に合格することです。12月には日本語能力試験N3を受験する予定で、日本語の勉強と同時に介護の勉強も頑張りたいと思います。



介護職員
ズオン・タン・タム

利用者様のお手伝いをするに楽しみを感じるようになりました。今後は排泄や入浴の介助をできることが目標です。早く日本語も上手になって利用者様と楽しく話したいと思います。

銀砂台「助川サテライト」

地域密着型特別養護老人ホーム

対面式面会を実施しました

市内感染者数の減少傾向から、サテライトでは、6月25日から面会制限を一部解除し、予約制による対面式面会を実施することにしました。対面式の面会実施にあたり、施設としての要件を設けさせていただき、実施させていただきました。

コロナ禍における面会の方法に関しましては、様々な取り組みをさせて頂き、その都度その場面に立ち会わせていただきましたが、対面で直接顔を合わせたときの入居者様の表情、御家族様の表情を拝見させていただいた場面では、コロナ禍で離れていたご家族の絆がお互いの表情に溢れ出ていたように思います。

面会のご様子



ドライブ外出に行ってきました

気分転換を目的に市内、市外のドライブ外出を企画しました。行先は入居者様に聞き取りを行い、常陸太田の道の駅、鷺の岬、お魚センターなどがあげられました。

外出先では、海の風を感じ、人の流れを感じ、また昔を懐かしむ様子も見られ、外出先ならではの話を聞くことが出来ました。



避難訓練を行いました



コロナ禍ではありますが、例年行っている訓練に加え、消防本部へ消火器の借用と職員の派遣を依頼し消火器の使用方の説明、実践訓練を行いました。改めて消火器の使用方を周知、実践することで火災が発生した際に行うべき行動として職員共通理解することができました。



新人紹介

サテライトに入職した新人職員を紹介します。どうぞよろしくお祈りします。

介護職員

鹿志村 ひとみ

昨年12月に入社しました。介護の仕事は初めての経験で、戸惑いと不安の思いがありました。

先輩方の指導を受けながら、日々勉強していく中で、入居者様から安心、信頼される介護士を目指したいという気持ちになりました。全力で頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。



看護職員

俣田 玲子

スタッフ間での情報共有をしっかり行い、入居者様が安全に、そして、安心して生活できるよう援助していきたいと思っております。

よろしくお祈りします。





居宅介護支援事業所 銀砂台

TEL : 0294-33-6363

今年度から仲間が増えました!!



令和4年6月1日付で伊藤ケアマネジャーが入職し、居宅介護支援事業所銀砂台は、常勤2名体制になりました



伊藤 奈央也

令和4年6月に入社しました。伊藤奈央也と申します。ケアマネジャーとして、地域にお住まいの皆様のお役に立てるよう、日々精進してまいります。小さな悩みや心配事でも困ったときは、お気軽にご相談ください。

特養銀砂台に併設しています。



地域包括支援センター 銀砂台

TEL : 0294-33-6500

▶ 地域包括支援センターの紹介動画を作成しました!



地域包括支援センター銀砂台の紹介動画を作成しました。下記QRコードからご覧いただけます。



地域の
実態把握に
力を入れて
います

迅速な対応
を行います
(早期発見・
早期対応)

来所しやすい
立地です
(6号国道沿い)

相談しやすい
雰囲気作りを
心がけています



いつでも、どんなことでも気軽に
ご相談下さい!!





銀砂台「鹿島町クラブ」

小規模多機能型居宅介護事業所

❖ 遠足に行ってきました

新型コロナの感染が落ち着いた時期を見計らって、久しぶりの遠足を企画しました。

外出先は、国営ひたち海浜公園です。みはらしの丘一面に真っ赤に彩られたコキアとローズガーデンのバラの香りに包まれ利用者様は大喜びでした。レストランのテラスで昼食を摂り、お腹いっぱいになったところで帰園しました。車中は賑やかに、弾む話題であつという間の到着でした。



❖ 合同研修に参加

本園にて実施した新人研修会に、鹿島町職員の渡邊剛が参加しました。

今回は法人の理念、認知症ケア、介助技術などの他に障害者になり車椅子で過ごす利用者体験も行いました。発語できないもどかしさや自分で姿勢も直せない辛さ、時間が経つにつれ孤独を感じる利用者様の気持ちを体験する事ができました。

研修を終え、学んだ事を活かし次の目標を持って利用者様の支援を行っています。



❖ 新人紹介

倉持 匡志 (介護職)



今年1月より入職しました。長く介護に従事してきましたが、また新たな気持ちで利用者様と向き合いたいと思います。在宅介護支援の経験を活かし鹿島町クラブでも利用者様から頼られる存在になれるよう頑張ります。今年にはチャレンジの年だと考えています。今まで以上に業務に励んで行きますので宜しくお願いします。

鶴谷 明美 (看護職)



4月からお世話になる事になりました。母がデイサービスでお世話になっていたこともあり、恩返しできればと思っています。利用者様やスタッフのみなさんにご迷惑をお掛けしないよう楽しくお仕事をさせて頂きたいと思っています。よろしくお祈りします。

銀砂台「本宮町クラブ」

小規模多機能型居宅介護事業所

❖ 防災訓練を実施しました

本宮町クラブでは年に4回防災訓練を行っています。火災や地震、竜巻などを想定した訓練を行い、利用者様の避難誘導・車いすでの避難方法の確認・消火訓練や通報訓練を行っています。訓練後には反省点の話し合いを行い次回の訓練にいかせることができますようになっています。



❖ 外出レクリエーション

コロナ禍の中、感染予防に努めながら動物園、大洗水族館、コストコに外出に行きました。事前に入場者数等の確認を行い当日の天気も考慮しました。利用者様は久しぶりの外出で気分転換できました。大洗水族館には御家族が参加した利用者様や、コストコへの買い物外出の際には家族におみやげを購入した利用者様もいらっしゃいました。まだまだコロナ感染症の心配は続きますが、利用者様に楽しんで頂けるようにしていきたいと思っています。



❖ 皆で手作り

お饅頭、お好み焼き、餃子作り、うどん作り等を行いました。粉を丸め餡をつめたり、慣れた手つきで野菜を刻んだり利用者様と一緒に行いました。また、うどん作りでは若い頃にうどん打ちを行った利用者様もいて、指導を受けながら作りました。出来上がったものはおやつや昼食時に美味しくいただきました。





～銀砂台懐かしの写真館～

流しそうめん
(2003年)



バレーボール大会
(2002年)



大洗水族館
(2000年)



鶴の岬にて
(2000年)



令和3年度決算報告書

(令和4年3月31日現在)

資金収支決算書

単位：千円

貸方(収入)		借方(支出)	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
事業活動収入	526,009	事業活動支出	456,875
施設整備等収入	5,478	施設整備等支出	42,766
その他の活動収入	65,737	その他の活動支出	81,432
		当期資金収支差額	16,151
合計	597,224	合計	597,224

貸借対照表

単位：千円

貸方(収入)		借方(支出)	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	383,478	流動負債	47,813
固定資産	803,517	固定負債	57,236
		負債の部 合計	105,049
		純資産の部	
		基本金	39,920
		国庫補助金等特別積立金	154,607
		その他積立金	74,263
		次期繰越活動収支差額	813,156
		純資産の部 合計	1,081,946
	1,186,995		1,186,995

事業活動収支決算書

単位：千円

貸方(収入)		借方(支出)	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
サービス活動収益	520,848	サービス活動費用	476,659
サービス活動外収益	5,160	サービス活動外費用	1,400
特別収益	5,478	特別費用	12,972
		当期事業活動増減差額	40,455
合計	531,486	合計	531,486

ご奉仕・ご寄附ありがとうございました

●団体

医療法人真寿会 西成田医院様
カットハウスフレンド様
茨城キリスト教大学様

医療法人英徳会 塩原歯科医院様
退職公務員連盟様
髪房仔馬様

●個人

大塚 尚 様 矢野 清 様
富澤かつ子 様 鈴木よしお 様

